

## 第2回定例理事会

7月17日  
本部会議室  
出席理事25人

# 「風営法下で健全な成長」

## 日遊協の基本方針を確認

冒頭、庄司孝輝会長は、パチンコ税の創設、換金合法化等、業界に関連した様々なニュースが錯綜していることについて、「日遊協としてはそれらを見極めた形で意見を出したい。また、業界としての要

望についても専務理事を中心に身を検討している最中だ」と、慎重に対処していく姿勢を強調した。これに関連して、直前の正副会長・支部長会議とそれに続く理事会で、いわゆる自民党風営法協議

及び規制緩和事項について協議した。その結果、今後次の通りの基本方針で臨むことを確認した。

### 規制緩和検討深める

「我々は風営法の下に大衆娯楽として発展してきたものであり、引き続き風営法の精神の下でこの産業を健全に成長させていくことが、日遊協の使命であると考えている。その前提の下に、今後の業界のために必要とおもわれる規制緩和すべき事項について、志を同じくする団体とも協議を進めながら検討を深め、合意が得られた段階で、関係方面に働きかけていきたい。なお、現在議論として出ている



あいさつする庄司会長

『換金合法化』については、その内容が正式に明示されていないので具体的に論評することは差し控えるが、少なくとも現時点では、『我々が前提としてきた大衆娯楽の領域を踏み外しているのでは』との疑念をぬぐえない」。

日遊協は今後、この基本的立場に沿ってホール5団体の話し合い等に対応していく。

### 依存対策を一層強化

秋の臨時国会でのカジノ法案審議を控えて、依存対策を一層強化していく方針を確認した。カジノ法案の本格審議が始まった場合、とくに参議院ではカジノ慎重派・反対派が多いため依存問題について質問が集中し、パチンコ・パチスロ業界にも矛先が向くことが確実視されている。業界は依存対策として、幼児の車内放置防止運動、電話相談機関リカバリーサポー

ト・ネットワーク(RSN)への支援等が続いているが、これらの対策の拡大、あるいは新規事業等、プラスアルファの対応が強く求められる事態になっている。

日遊協は8月から新たに依存問題プロジェクトチーム(PT)を立ち上げたが、直接的な対策でなくとも射幸性を抑制するような対策、一時期検討されていた定量性の復活等についても、パチンコ・パチスロ産業21世紀会(業界14団体)の遊技産業活性化委員会で検討し、秋の臨時国会で直接実現はしないまでも、何らかの対策の骨子的なものを出していきたいとしている。

### 「ニコ超」参加を承認

来年4月25、26日に予定されるニコニコ動画主催の「ニコニコ超会議4」(千葉・幕張メッセ)に、「パチンコ&パチスロフェスタ2015」のブースを設け、パチンコ・パチスロ機を出展させる計画案が承認された。遊技産業活性化委員会にも提案し、業界ぐるみで進めたいとしている。

さる4月に開催された「パチンコ&パチスロフェスタ2014」



いわゆる自民党風営法協議連等についての基本方針を確認した第2回定例理事会

(25、26日、ベルサール秋葉原)では、初めての試みとして26、27日の「ニコニコ超会議3」にサテライトブースを設けた。パチンコ7台、パチスロ9台を出展したところ、2日間で当初予想を大幅に上回る3146人が来場、試打を楽しんだ。

来年はベルサール秋葉原でのイベントは行わない予定だが、ニコニコ超会議に再び出展する目的として、ノンユーザーの若者たちに対して業界の認知拡大を図るとともに、パチンコ・パチスロに触れるきっかけづくりを行うことを挙げていた。今年の出展面積は9m四方だったが、来年は規模の拡大を主催者側に申し入れる。出展費用については、今年と同じく個別の遊技機メーカーから協賛を募る。また、18歳未満の入場制限を行う。

## 公益目的財産額が確定

4月1日に一般社団法人に移行した日遊協の公益目的財産額が確定し、公益目的支出計画の概要が報告された。確定した公益目的財産額は6億5022万3190円。支出計画の実施期間は8年間となっている。

公益目的事業は、①継続事業の

健全化適正化事業(広報誌の無料配布、PSIO・セキュリティ対策委員会の運営、RSN支援等) ②同じく継続事業の社会貢献事業(社会貢献・環境対策委員会の運営、嵐山町共生の森、緑のきずな・ボランティア等) ③特定寄附(さわやか福祉財団への寄付)——の3種類。今年度の支出計画は健全化適正化事業費6109万円、社会貢献事業費2040万円、さわやか福祉財団寄附10万円となっている。

新規入会を申請した正会員1社(販社)、賛助会員1社の入会を承認した。これで7月17日現在、正会員335社(ホール109、機械69、販売109、景品10、その他38)、賛助会員74社、計409社と団体加盟1(同友会)となった。(14ページに新規入会会員)

## 正副会長・支部長会議

### 「換金合法化」実現は疑問

正副会長・支部長会議が7月17日、第2回定例理事会に先立って本部会議室で開かれ、同理事会に提案を予定している「日遊協の基本的立場」等の内容を審議した。

さらに、業界が置かれている厳

しい現状の中、風営法の下で遊技産業を健全に成長させるために、各種の規制緩和の要望をしていくことで内容を検討した。

また、一部のホール団体から文書で出されている換金合法化案については、規制強化につながるリスクな部分が多いことと賭博という認識から実現性は乏しいとの否定意見で一致した。税金の問題に関しては何らかの課税の可能性があるとの見方が多かった。

出席者次の通り。(敬称略)

会長 庄司孝輝 副会長 大久保正博、兼次民喜、筒井公久、韓裕、福井章(近畿支部長)、山田久雄、和久田守彦 支部長 松谷明良(北海道)、西村拓郎(東京都・関東)、山口悟(中部)、樋口益次郎(九州) 本部 篠原弘志(専務理事)、

伊東慎吾(常務理事)

## 専門委員会委員長会議

### 「活性化委員会」バックアップ

専門委員会委員長会議が7月16日、本部会議室で開かれた。庄司孝輝会長、大久保正博副会長(遊技産業活性化委員会)、専門委員会・プロジェクトチーム(P.T.)の委員長・リーダーら14人が参加した。

パチンコ・パチスロ21世紀会に置かれた遊技産業活性化委員会の活動を効果的にバックアップしていくため、各委員会・P.T.の活動内容の報告等が行われ、活性化委員会のイメージ・方向性を共有した。さらに、活性化委員会の中のPR活動に関して、総合PR企業ベクトルグループの㈱イニシャルから、「パチンコ業界の活性化に関する戦略PRプラン」の提案を聞いた。他のおもな出席者。(敬称略)

日遊協 篠原弘志(専務理事)、伊東慎吾(常務理事) 委員長 福山裕治(広報調査)、前田竜哉(人材育成)、薛博夫(社会貢献・環境対策)、内藤裕人(遊技機) P.T.リーダー 安藤博文(依存問題)、茂木欣人(風営法) 活性化委員会 岸野誠人(理事)



㈱イニシャル(右側奥)の戦略PRプランを聞く  
会長・委員長・P.T.活性化会議

## 東北支部・九州支部意見交換会

### 意義深い討論と交流に復興の姿から学ぶ

東北支部・九州支部意見交換会が7月15日、宮城県女川町のトレーラーハウス・エルファアロで23人

(東北支部10人、九州支部13人)が出席して開かれた。

遠来の九州支部は東日本大震災以降、宮城県南三陸町などにボランティアチームを繰り返し派遣して復興支援を続けており、その流れで今回の両支部の交換会が実現した。この日、九州支部の会員たちは午前中に空路仙台に到着、「仙台共生の森」の植林地2か所(仙台市荒浜、名取市)を視察した



◀エルファアロの中心広場で全員集合

あと女川町に入り、町の被災・復興状況を見たあと、意見交換会に臨んだ。

意見交換会は細長いトレーラーハウスの会議棟で、テーブルごとに4人掛けしたスタイル。会議の冒頭、谷口久徳東北支部長は、「九州支部からは、東北の復興のために、またわれわれ東北の意識を明るくしてくれるために何度もボランティアで来ていただき、深く感謝を申し上げます」とお礼を述べた。

「女川の惨状」に改めて樋口益次郎九州支部長は、「この

◀トレーラーハウスの会議棟で行われた熱気あふれる意見交換会



◀(右)東北支部長 谷口久徳 (左)九州支部長 樋口益次郎

意見交換会の目的の1つは、日遊協の活性化の一環で東北のお手伝いができるばということ、もう1つは復興というものをもう一度わ

れわれの目で見てみようということとです」とあいさつした。

同じく九州からの山田久雄副会長は、被災地域の見学で大量の瓦礫の集積や横倒しになったビルの残骸などの光景を思い返し、「きょう初めて女川の惨状を見てびっくりしました。今年は冷夏ともいわれていますが、日が照って暑い夏が来て、せめて東北のお米が豊作になればと考えました」と述べ、南北に離れた支部間で交流する意義を強調した。

#### 相互に質問用意し討議

意見交換会は、大震災を通して感じたこと、各県遊協との関わり・親睦など、相互に4〜5問の質問を用意し、それらに答える形で進められた。東北支部から、震災後のバッシングの心配、店の再開を判断する際の迷い、再開したらお客様同士やお客様と従業員が抱き合っただけを喜び合っていた光景などが語られた。

次いで、ボランティアに関してテーブルごとにディスカッションした。その中で九州支部が昨年9月9日に九遊連らの協力で行った清掃活動「第1回クリーンデー大掃除の日」の成果が紹介された。

最後に、東京からボランティアに来て、現在女川町の水産加工会社で働いている女性が招かれ、復興支援の経験談を飛び入りでスピーチした。そのあと、エルファアロの中心にあるウッドデッキの広場で屋外懇親会が催された。

#### 宿泊施設はトレーラー式

女川町は大震災で町の8割が津波をかぶり、当時の町の人口約1万人のうち死者・死亡認定者・行方不明者が計827人に達した。人口流出も進む中で、現在、懸命な復興努力が続けられている。

会場となったトレーラーハウス・エルファアロは、大震災で被災した旅館4社が「女川町宿泊村協同組合」を設立し運営している。大震災で町のほとんどが建築制限区域となり、宿泊施設を再建するための用地が確保できなかった。そこで、建物の基礎を打つ必要がなく、復興の状況に合わせた移動が可能で、しかもプレハブ建築より快適性が高いトレーラーハウスを宿泊施設に採用した。湾から入った山沿いに、客室32棟(63室)、レストラン3棟、厨房棟、会議棟、管理棟等のトレーラーハウス群が整然と並んでいる。

## 遊技機委員会

7月15日  
本会議室  
出席委員等15人

# より広いスペースで 「来年のニコ超 フェスタ15」

「パチンコ・パチスロフェスタ2015 inニコ超4」の計画について協議された。「ノンユーザーに対して、業界の認知拡大を図るとともにパチンコ・パチスロにふれるきっかけづくりを行う」ことを基本目的として、2015年4月25日、26日の両日、幕張メッセ会場に出席することを確認し、7月17日の日遊協理事会に提案することになった。

前回初めて出展したときは、時間の制約があったため出展スペースが限られたが、サイズを広げて展開する方向で取り組むことを決めた。また協賛に関して「団体協賛」については組織的な問題があり、前回と同じように個別の遊技機メーカーを募って実

施することとした。

2014年は秋葉原で開かれた通常の「フェスタ」を来年は開催しないことになっているが、別の形でのファンアピールを行う意見が出された。例えば、上野には多くのメーカーや関連企業が集中しているため、各メーカーの営業の展示スペースを使って、ファンに巡ってもらおう。各メーカーの個性が生かされ、費用が少なく実施できるし地元商店街の協賛も期待できる。「スタンプラリーなども面白い」「東京、大阪は可能性が十分ある」などの意見が出された。

## 広報調査委員会

7月16日  
本会議室  
出席委員等12人

### 項目追加、削除で協議 「14ファンアンケート調査

10月初旬から実施される「2014年ファンアンケート調査」について協議し、方針として①経年調査で必要な項目は継続、誤差の

範囲内で回答が推移しているものは削除する ②ノンユーザーなどを誘いやすい環境を探る ③HPで公開するための検証をする、ことを確認した。

その確認に基づいてアンケートの変更個所について討議した。設問に対する回答の簡素化・デジタル

## 遊技産業新経営者会議

### 「広い視野でネット活用を」 サミー(株)取締役 里見治紀氏が講演

第5回日遊協遊技産業新経営者会議(韓裕担当副会長、西村拓郎リーダー)が7月30日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。ホール、遊技機メーカー、販社、周辺機器等、会員企業の若い世代の経営者・幹部32人が業種を超えて参加した。

サミー(株)取締役、里見治紀氏が「ネットワークゲームについて」と題して講演した。同氏はDENA、GREEなどネットワークゲーム市場の動向、コンプガチャなどモバイルコンテンツを取り巻く問題等を解説した。さらに関連会社の(株)サミーネットワークスが運営する、パチンコ・パチスロアプリを遊技できるオンライン・ゲームサイトを



ネットワークゲームについて講演する里見治紀氏

「777town」でゲーム情報を得てホールに行くユーザーが増えていくとして、「7号業界も広い視野でネットワークゲームを有効活用し、若年層や女性を囲い込み、業界の継続的な成長を実現させよう」と述べた。

続いて5班に分かれて、「ファン拡大に向けたこれからの遊技機」をテーマにグループ討議を行った。最後に懇親会を開いて締めくくった。



# プロジェクトチーム名簿

平成26年7月15日

委員会	PT名	プロジェクトチーム					
		中古機流通PT		依存問題PT		風営法PT	
正博	担当理事	和久田守彦／篠原 弘志		伊東 慎吾		篠原 弘志	
(株)マルハン	リーダー	中村 昌勇	(株)中商	安藤 博文	デライト・コミュニケーションズ(株)	茂木 欣人	ピーアークホールディングス(株)
	サブリーダー						
	北海道						
	東北			岸 隆之	(株)ニラク	影山 健二	(株)ニラク
(株)安田屋	東京・関東	合田 清	(株)マルハン	横山 真千	(株)マルハン	田中 克幸	(株)マルハン
トリックスターズ・アリア(株)				富田 和宏	(株)ABC	丸山 一男	(株)安田屋
(株)千歳観光				栗山 昌人	サンキョー(株)		
(株)アプリー				福田 壮彦	東和産業(株)		
(株)エンビズ総研							
(株)ヒノックス							
(株)三洋物産							
(株)ニラク							
フジコーポレーション(株)	中部	寺内 一史	(株)テラウチ				
(株)高尾							
(株)コスモローム研究所	近畿	板倉 孝次	(株)アサヒディード	河野真一郎	(株)アサヒディード	河野真一郎	(株)アサヒディード
(株)ブローバ	中国・四国	石原 雅文	(株)ブローバ	村瀬 位	(株)エムズ・ユー		
山佐(株)							
(株)善栄	九州						
(株)竹屋	日工組	内山 博	日工組				
(株)デイ・ライト							
サミー(株)	日電協	宮良 幹男	(株)オリンピア				
(株)北電子							
	全商協	畠山 和生	(株)大喜屋商会				
		林 和宏	(株)ライズ				
		岩下 卓世	(有)アイ・ティ・エム				
	回胴遊商	大饗 裕記	(株)アス・ワン				
		中村 泰仁	(株)中商				
		林田 伸一	(株)アクター				
	自工会						
	メダル工業会						
	その他					小峰 望	のぞみ合同事務所
						日野孝次朗	のぞみ合同事務所
20	合計	14		9		8	
15	定員	10		10		10	

		専門委員会					
委員会名	広報調査委員会		人材育成委員会		社会貢献・環境対策委員会		遊技機
担当理事	韓 裕		谷口 久徳		知念 安光		大久保
委員長	福山 裕治	(株)フェイスグループ	前田 竜哉	デライトコミュニケーションズ(株)	薛 博夫	富國物産(株)(同友会)	内藤 裕人
副委員長	佐藤 聖子	ゲンダイエージェンシー(株)			岡林 克彦	ゲンダイエージェンシー(株)	
北海道	松村 高	(株)サッポロユウキ					
東北							
東京・関東	安岡 晃宏	(株)プロテラス	海瀬 達司	(株)北電子	平岡 久明	(株)アルファ	吉田 猛
	相澤 浩之	ジャパンネットワークシステム(株)	山脇 啓嗣	(株)千歳観光	西岡 隆昌	セーラー万年筆(株)	日野 元太
	青山 聖	アーケ・フロント(株)	平山 友理	ジャパンネットワークシステム(株)	和木 啓介	(株)マルハン	白石 良二
	峰岸 周	サンキョー(株)	人首 雄介	(株)パック・エックス	福地 光	(株)山水	畑 雅樹
	阿施 浩行	NEXUS(株)	竹内 直子	(株)マルハン	相田 幸一	オムロンアミューズメント(株)	小川 隆志
	横山 真千	(株)マルハン			藤田 宏	(株)エンビズ総研	日野 智隆
	小林 泰己	(株)パック・エックス	鈴木俊一郎	(株)オータ			倉本 和明
中部	永谷 俊介	京楽産業(株)			渡辺 幸男	(株)三洋物産	星野 勝彦
							内ヶ島正規
近畿	藤原 裕一	(株)ボネール					宮武 宣人
中国・四国			津口 大輔	(株)プローバ	内田 忠良	ウチダ(株)	鈴木 貴裕
							佐野 範一
九州			道平 勝則	(株)玉屋	有川 裕之	ジーピーエム(株)	前園真一郎
			重富 修一	三宝商事(株)	岩戸 弘二	ジーピーエム(株)	
日工組							赤塚 功一
							中島健太郎
日電協							米田 公昭
							鈴木 純平
全商協							
回胴遊商			金本 学	(株)アカデミーシステム			
自工会							
メダル工業会			半澤 克彦	(株)西陣			
その他							
合計	13		16		13		
定員	15		15		15		